



美しい多摩川 フォーラム

多摩川をシンボルに、みんなで
美しい多摩づくりを!

美しい多摩川
100年プラン

環境

経済

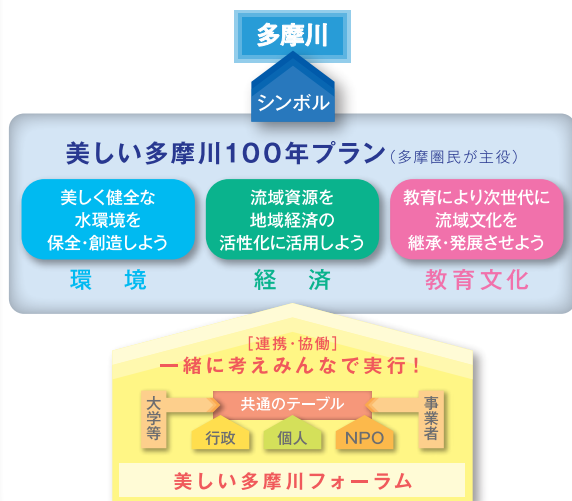
教育文化



Forum for the Beautiful Tama River

美しい多摩川フォーラムとは

美しい多摩づくり運動の進め方



運動の3本柱

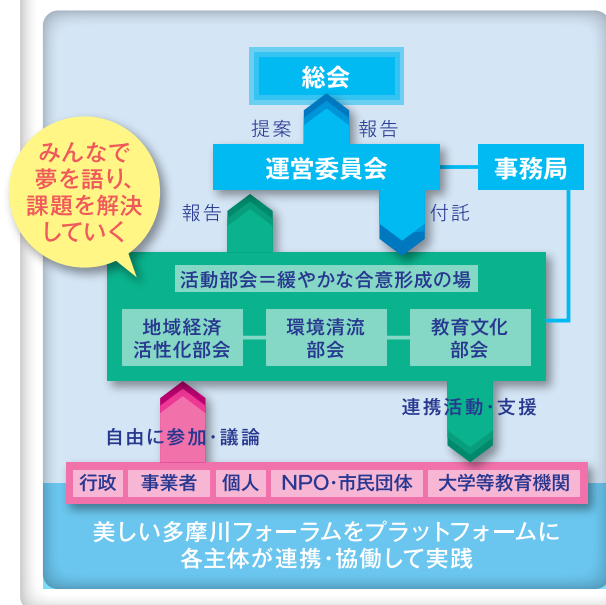
環境

経済

教育文化

私たちは、進化・発展する基本計画「美しい多摩川100年プラン」のもと、**環境、経済、教育文化**を運動の3本柱に据え、**水環境**を守りながら、地域**経済**の活性化に取り組み、そして、次代を担う子どもたちへの**教育**を通じて、地域の人々(多摩圏民)が生きがいを持って、自立した生活が送れるよう、「持続可能な地域社会」の実現に貢献します。

美しい多摩川フォーラムの組織と合意形成の流れ



個人の役割

身近な水環境の現状を認識・理解するとともに、環境に負荷をかけないように、身の回りの問題から環境保全活動に取り組みます。また、次代を担う子どもたちが、自然の中で遊びながら、地域環境や生命の大切さを学び、地域に対する愛着や誇りを育んでいきます。こうした取り組みを通じて、ゆたかな暮らしが実現するよう、行政や事業者等と連携・協働して、活気のあるまちづくりに取り組みます。

事業者の役割

地域で事業を営む企業・事業者は、事業を通じて地域社会に貢献するとともに、その事業活動が環境資源に負荷をかけていることを認識し、いかに地域と共生していくかを考え、企業の社会的責任(CSR)を果たしていきます。特に、環境保全活動や地域づくり活動等に参加し、協力します。

行政の役割

まちの活性化(まちづくり)、環境の保全・創造、教育文化の向上など、複雑・多様化する地域の課題に適切に対応するため、広域的な自治体等との連携・協働活動を通じて、「美しい多摩づくり運動」に参加し、協力します。特に、情報共有を促進し、行政のホームページや広報誌を通じて市民への広報・啓発に努めるほか、広く地域において、研究や学びの場を提供します。

ごあいさつ

東歌に詠まれた万葉の時代の「多摩川」、谷川俊太郎さんが作詞した平成の時代の「多摩川」。そこで謳われる共通点は、「ほとぼしり、止まぬ生命力」なのです。美しい多摩川フォーラムは「人々の心、ゆるく結んで」活動を続け、その「ほとぼしり、止まぬ生命力」で第2ステージを迎えようとしています。多摩川流域400万人の人々と、魅力的な地域づくりを楽しみながら実践しようという「美しい多摩川100年プラン」

は、気長で大胆な計画だと思われるでしょう。でも、人生100年時代がそろそろ到来しつつあります。このフォーラムが実践する活動に参加する若い子どもたちは「未来からの留学生」なのです。現代に留学している彼らが、未来に引き継ぐべきこと、捨て去るべきことを巧みにより分け、次の「美しい多摩川100年プラン」を作っていく。そんな将来に思いを馳せながら、第2ステージを迎えませんか。



会長
細野 助博

経済

観光資源にフォーカスした地域経済活性化

交流人口が増加することで賑わいが生まれ、ビジネスが育ち、地域に活力が生まれます。

多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り



六番 ガス橋緑地堤防二十一世紀桜並木



八十番 釜の淵公園



携帯マップ



ホームページ・トップ画面

桜ウォーキング(毎年春)



桜守が桜の楽しみ方をガイドします

美しい多摩づくりの象徴として、多摩川流域にある桜の名所の中から特に八十八ヵ所を選定、願いごとをたずさえて巡る巡礼のように、多摩川流域にある「桜の名所・八十八ヵ所」を、願いごとをたずさえて訪れ、桜を鑑賞する楽しみ方を提案しています。

「美しき桜心の物語」の語り会(毎年春)

語り部・かたりすと 平野啓子副会長



多摩川酒蔵街道(毎年秋)



多摩川酒蔵街道のチラシ

JR東日本のお座敷列車「多摩川酒蔵街道」号



東京・西多摩地区の多摩川水系の流域には酒蔵が5蔵あり、この五つの酒蔵と紅葉や温泉地を巡る「多摩川酒蔵街道」事業を提案しています。

酒蔵や紅葉地を巡る「はとバスツアー」



多摩川カヌー駅伝大会とカヌー体験教室



多摩川を颯爽と漕ぐカヌー駅伝走者



カヌー体験教室

環境

自然資源の保全

水質調査や清掃活動、育樹活動等を通じて、「持続可能な地域社会」の実現に貢献します。

多摩川一斉水質調査(毎年6月)

健全な
川づくり



多摩川流域の各地点で採水する参加者



COD値の測定(青梅信用
金庫本店の調査会場)

毎年6月に水質調査を実施して
水質マップを公表しています。



毎年11月に公表している多摩川流域
の水質調査結果マップ(COD値)

美しい多摩川クリーンキャンペーン(毎年11月)

きれいな
水辺づくり



ゴミ拾いに精を出す参加者



クリーンキャンペーン月間のポスター

いつまでも多摩川水系の美しい
水辺を維持していこうと、多摩
川流域の自治体、企業、市民が
連携したゴミ清掃活動「美しい
多摩川クリーンキャンペーン」を
毎年11月に実施しています。

美しい多摩川フォーラムの森(青梅)の保全活動

健全な
森づくり



下刈りイベント開催

「美しい多摩川フォーラムの森(青梅)」にて、
広葉樹の植樹や下刈りイベントを行うなど、
水源地の森の環境整備に努めています。

多摩川“水”大学講座

水の重要性、利用できる水資源、水
循環、水質など水に関する知識を総
合的に知ることにより、身近な水環
境から地球環境まで保全すること
をみんなで考えていくという講座
で、地域における水環境のリーダー
になることが期待されます。



桜等の植樹・育樹活動



各地に桜を植え続けていく

教育文化

フォーラム運動を次世代に継承

次代を担う子どもたちへの教育を通じて明るい未来のまちづくりを実践します。

水辺のネットワーク広報紙「多摩川っ子」発行(毎年7月)



源流から河口まで多摩川を結ぶ水辺のネットワークを構築しようと、多摩川流域の水辺の活動団体の主な活動を紹介すると共に、子どもたちの自然体験や環境学習を支援する多摩川教育河川新聞「多摩川っ子」を発行し、行政や教育委員会のご協力のもと、多摩川流域の小・中学校に配布しています。

炭焼き体験と水辺の交流会(毎年8月)

ダニエル・カール副会長も参加



ライフジャケットを着用して川遊びに向かう子どもたち



川の危険性と安全性を学び、体験してもらうことにより、子どもたちの感性が豊かになるお手伝いが出来ればとの思いから、親子で参加できるイベントとして実施しています。

多摩川子ども環境シンポジウム(毎年12月)

交流会の様子



発表者全員で記念撮影

子どもたちが夏休み等に、多摩川の環境や文化等について学んだことや調べたことを自由に発表するイベントとして開催しています。

桜守学校(毎年春)



桜について学ぶ



日本人が最も愛する「桜」を地域の観光資源と捉え、その景観を維持するため、桜を守り、次代を担う子どもたちに継承していく「桜守」を育成することを目指し、開催しています。



CDやDVDを制作し、「多摩川の歌」の普及に努めています

「多摩川の歌」普及活動

人々の心ゆるく結んで、これから先、多摩川と共に、100年、200年、300年と歌い続けられることを願っています。



三多摩青年合唱団の皆さん

「多摩の物語」の語り活動



平野啓子副会長とそのお弟子さんたちが、多摩に伝わる言い伝えや昔話を掘り起そうと、「多摩の物語」として2冊の小冊子に纏め、この「多摩の物語」を地域の人々にわかりやすい「語り」で伝えていこうと、地道な語り活動を各地で展開しています。

作詞／谷川俊太郎
作曲／寺嶋陸也

大空おおぞらの高たかみふるさとにして

霧きりはまき露つゆは地ちに滲しみ

大地の深みをみなもとにして

せせらぎは生うまれひろ広がる

逆さかり流ながれて止やまぬ

多摩川たまかわはきらめくいのち

水辺みずべの桜さくらに夢ゆめを託たくして

集つどう人ひと遊あそぶ子こどもら

人々の心ゆるくむすんで

水みず青あお
く森もり
は緑みどり
に

渦うず巻まいて湛たえて深ふかく

多摩川ははぐくむいのち



〒198-8722 東京都青梅市勝沼三丁目65番地 青梅信用金庫 地域貢献部内
Tel 0428-24-5632 Fax 0428-24-4650 <http://www.tama-river.jp>